

描き続けた夢を叶え いざ、世界の舞台へ！

教師として
アーティストとして

教育者としてキャリアを重ねるかたわら、アーティストとして県展など数々の受賞歴を誇る牛丸和人さん。新たな作風と境地を開いた作品が世界で活躍する寺田琳氏の目に留まり、3月にニューヨークで開催される日本人アーティストのグループ展に出展が決まりました。

さらに、ニューヨークへ出展した作品などを由緒ある京都府の建仁寺へ寄贈することも決定。大きな夢を叶えた牛丸さんの挑戦の軌跡に迫ります。

石工だった祖父に絵を褒められたことで、アートへの興味を深め、美術教師となつた牛丸さん。多久市立東部中学校（現・東原岸舎東部校）教諭や佐賀県立牛津高等学校校長などを経て、現在は西九州大学短期大学で教授として学生たちの指導にあたっています。

美術教師として作家活動を続ける生き方は、学生時代の恩師である西渓中学校（現・東原岸舎西渓校）の桑原京次先生、小城高校の金子剛先生、佐賀大学の深草廣平先生からの影響が大きいと話す牛丸さん。

現在では、佐賀県美術展で県知事賞や第70回記念特別賞を受賞するなど、絵画界でも確固たる地位を確立されています。

よと、あるがままの姿を子どもたちに示したいんです」とほほ笑む牛丸さんは、これまで指導してきた数多くの教え子たちに慕われています。



▲ 県展で第70回記念特別賞を受賞した「大威徳明王」

教育者とアーティストの一足のわらじを履いて活動する中、かつての教え子に勧められFacebookを開始。そこで描きあげた風神雷神を投稿したところ、昨年9月、海外でグループ展などを展開している寺田琳氏から3月に開催予定の「ニューヨーク・グループ展（68レキシントン・アヴェニュー）」に出展しないかと誘いを受けます。絵を描き始めた頃からの夢でもあったニューヨークでの作品披露の機会が、間もなく実現します。



▲ 多久市の中心市街地に明るさと一緒にぎわいをつくる多久ウォールアートプロジェクトにも参加